

○立命館大学大学院スポーツ健康科学研究科研究科則

2012年2月17日

規程第951号

(趣旨)

第1条 この研究科則は、立命館大学大学院学則第49条の2にもとづき、スポーツ健康科学研究科の教育課程、授業科目、履修および修了に関する事項について定める。

(教育研究上の目的)

第2条 本研究科は、スポーツ健康科学の高度な専門性に基づく理論と実践を有し、豊かな人間性とリーダーシップを備え、社会の発展に貢献する有為な人材の養成を目的とする。

2 スポーツ健康科学専攻博士課程前期課程は、スポーツ健康科学分野の専門的かつ高度な実践力と研究力をもつとともに、研究成果を社会に発信できる専門職業人ならびに研究者の養成を目的とする。

3 スポーツ健康科学専攻博士課程後期課程は、スポーツ健康科学分野において先端の研究成果をあげ、その成果を実践に結びつけるとともに、研究プロジェクトなどにおいてリーダーシップを発揮することができる研究者の養成を目的とする。

(研究科、専攻および課程の英文表記)

第3条 研究科、専攻および課程の英文表記は次の各号のとおりとする。

- (1) スポーツ健康科学研究科 Graduate School of Sport and Health Science
- (2) スポーツ健康科学専攻 Major in Sport and Health Science
- (3) 博士課程前期課程 Master's Program in Sport and Health Science
- (4) 博士課程後期課程 Doctoral Program in Sport and Health Science

第3条の2 削除

(入学時期)

第4条 本研究科の入学時期は、4月または9月とする。

(授業言語)

第5条 本研究科での授業言語は日本語とする。

2 前項の規定にかかわらず教学上必要と認める場合は、英語を授業言語とする授業科目を置くことができる。

(科目区分)

第6条 スポーツ健康科学専攻博士課程前期課程の授業科目は、基礎科目、展開科目、演習科目および自由科目に分類して配置する。

2 スポーツ健康科学専攻博士課程後期課程の授業科目は、講義科目、実習科目および演習科目に分類して配置する。

(授業科目)

第7条 本研究科が開設する授業科目の科目名、単位数、授業方法、履修方法および配当年次は、スポーツ健康科学専攻博士課程前期課程においては別表1およびスポーツ健康科学専攻博士課程後期課程においては別表2のとおりとする。

(履修方法)

第7条の2 スポーツ健康科学専攻博士課程前期課程の学生は、研究指導教員の指導に従い、次の各号のいずれかの領域を選択し、領域に応じて定める授業科目を履修しなければならない。

- (1) 身体運動科学領域
- (2) スポーツ人文社会科学領域

(登録上限単位数)

第8条 1年間に履修科目として登録することができる単位数は、スポーツ健康科学専攻博士課程前期課程は各年次32単位とする。ただし、次の各号に定める科目については、登録することができる単位数の上限から除外する。

- (1) インターンシップ
- (2) 自由科目
- (3) スポーツ健康科学研究科委員会において教学上必要が認められる学部科目

(博士課程前期課程の修了に必要な単位数)

第9条 スポーツ健康科学専攻博士課程前期課程の修了に必要な単位数は、別表1に定める科目より、必修科目および次の各号に定める単位を含めて30単位以上とする。

- (1) 基礎科目

共通基礎科目から8単位および専門基礎科目から次のいずれかの科目2単位を含めて10単位以上

イ 身体運動科学領域においては「スポーツ人文社会科学特論」

ロ スポーツ人文社会科学領域においては「身体運動科学特論」

- (2) 展開科目

該当する領域の科目から6単位およびキャリア形成科目から2単位を含めて10単位以上

- (3) 演習科目

演習から次のいずれかの科目 6 単位および研究指導から 2 単位を含めて 8 単位以上  
イ 身体運動科学領域においては「身体運動科学演習Ⅰ」、「身体運動科学演習Ⅱ」お  
よび「身体運動科学演習Ⅲ」

ロ スポーツ人文社会科学領域においては「スポーツ人文社会科学演習Ⅰ」、「スポー  
ツ人文社会科学演習Ⅱ」および「スポーツ人文社会科学演習Ⅲ」

(博士課程後期課程の修了に必要な単位数)

第10条 スポーツ健康科学専攻博士課程後期課程の修了に必要な単位数は、別表2の科目  
より講義科目から2単位および演習科目から4単位を含めて6単位以上とする。

(博士課程後期課程の早期修了の申請)

第10条の2 次の各号のすべての事項を満たす者が、大学院学則第32条第2項により修了  
すること(以下「早期修了」という。)を希望する場合は、研究科長に申し出ることがで  
きる。

(1) 大学院学則第32条第1項に定める修了要件(在学期間に関する要件を除く。)を満  
たす見込みがあること。

(2) 大学院学則第32条第2項に定める在学期間を満たす見込みのあること。

2 前項の申出の期日は、早期修了を希望する時期に応じて次のとおりとする。

(1) 3月修了を希望する者 当該年度の11月末日

(2) 9月修了を希望する者 当該年度の5月末日

(博士課程後期課程の早期修了の認定)

第10条の3 研究科長は、前条の申出があった者が次の各号に定める事項をすべて満たし  
た場合、研究科委員会の議を経て、早期修了を認めることがある。

(1) 第10条に規定する修了に必要な単位数を修得していること。

(2) 査読付き筆頭論文2編以上が掲載決定していること。

(3) 博士学位申請論文の審査に合格していること。

(教員職員免許状)

第11条 中学校教諭一種免許状(保健体育)もしくは高等学校教諭一種免許状(保健体育)  
を取得している者、または取得できる単位を修得している者で、スポーツ健康科学専攻博  
士課程前期課程において教育職員免許法による専修免許状を取得しようとする者は、立命  
館大学学位規程第9条により修士学位を授与されるほか、中学校教諭専修免許状(保健体  
育)を取得しようとする者は別表3-1または高等学校教諭専修免許状(保健体育)を取  
得しようとする者は別表3-2の科目より24単位以上を修得しなければならない。

- 2 スポーツ健康科学専攻博士課程前期課程において取得することができる教育職員免許状の種類および教科は、別表4のとおりとする。

(改廃)

第12条 本研究科則の改廃は、スポーツ健康科学研究科委員会の議を経て、大学協議会で行う。

附 則

(施行期日)

- 1 この研究科則は、2012年4月1日から施行する。

附 則 (2012年3月16日 教学委員会の設置に伴う一部改正)

この研究科則は、2012年4月1日から施行する。

附 則 (2013年1月28日 改廃手続の変更に伴う一部改正)

- 1 この研究科則は、2013年4月1日から施行する。

附 則 (2014年1月28日 博士課程前期課程の修了要件の変更および立命館大学学位規程の一部改正に伴う一部改正)

- 1 この研究科則は、2014年4月1日から施行する。

- 2 前項にかかわらず、2014年3月31日に在籍する学生については、なお従前の例による。  
3 前2項にかかわらず、改正後の第11条は、2014年1月28日から施行し、2013年4月1日から適用する。

附 則 (2015年1月27日 博士課程後期課程の修了要件の変更等に伴う一部改正)

- 1 この研究科則は、2015年4月1日から施行する。

- 2 前項にかかわらず、2015年3月31日に在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則 (2015年4月21日 「学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律」の施行に伴う一部改正)

この研究科則は、2015年4月21日から施行し、2015年4月1日から適用する。

附 則 (2016年2月19日 大学院学則の変更に伴う一部改正)

この研究科則は、2016年2月19日から施行し、2015年4月1日から適用する。

附 則 (2016年7月8日 博士課程後期課程の早期修了の制度創設に伴う一部改正)

この研究科則は、2016年7月8日から施行する。

別表1 スポーツ健康科学専攻博士課程前期課程

科目区分	科目名	単位数	授業方 法	選択 必修	配当年 次	適用

基礎 科目	共通	科学研究特論	2	講義	必修	1	
	基礎 科目	研究調査特論	2	講義	必修	1	
		リーダーシップ特論	2	講義	必修	1	
		専門英語	2	講義	必修	1	
	専門	身体運動科学特論	2	講義	選択	1	
	基礎 科目	スポーツ人文社会科学特論	2	講義	選択	1	
展開 科目	身体	スポーツトレーニング特論	2	講義	選択	1・2	
	運動	運動生理・生化学特論	2	講義	選択	1・2	
	科学	健康増進科学特論	2	講義	選択	1・2	
	領域	バイオメカニクス特論	2	講義	選択	1・2	
		スポーツ工学特論	2	講義	選択	1・2	
		運動処方特論	2	講義	選択	1・2	
	スポ ーツ	スポーツ教育学特論	2	講義	選択	1・2	
		スポーツ栄養教育学特論	2	講義	選択	1・2	
	人文	コーチング行動学特論	2	講義	選択	1・2	
	社会	スポーツマーケティング特論	2	講義	選択	1・2	
	科学	スポーツマネジメント特論	2	講義	選択	1・2	
	領域	スポーツビジネス特論	2	講義	選択	1・2	
	特殊 講義	スポーツ健康科学特論	2	講義	選択	1・2	
	キャ リア 形成 科目	スポーツ健康科学キャリアプロジェクト	2	講義	必修	1	
		インターンシップ	2または4	実習	選択	1・2	
		外国留学科目	1~4	講義	選択	1・2	
	演習 科目	演習	身体運動科学演習Ⅰ	2	演習	選択	1
身体運動科学演習Ⅱ			2	演習	選択	1	
身体運動科学演習Ⅲ			2	演習	選択	2	
スポーツ人文社会科学演習Ⅰ			2	演習	選択	1	
スポーツ人文社会科学演習Ⅱ			2	演習	選択	1	

		スポーツ人文社会科学演習Ⅲ	2	演習	選択	2	
研究 指導		研究指導Ⅰ	2	演習	選択	2	
		研究指導Ⅱ	2	演習	必修	2	
自由科目		単位互換履修科目	1~4	講義	自由	1・2	
		大学院コーオプ演習	2	演習	自由	1・2	

別表2 スポーツ健康科学専攻博士課程後期課程

科目区分	科目名	単位数	授業方法	履修方法	配当年次	適用
講義科目	先端スポーツ健康科学特論Ⅰ	2	講義	選択	1・2・3	
	先端スポーツ健康科学特論Ⅱ	2	講義	選択	1・2・3	
実習科目	学外実習1	2	実験・実習	自由	1・2・3	
	学外実習2	2	実験・実習	自由	1・2・3	
演習科目	先端スポーツ健康科学特別研究Ⅰ	2	演習	選択	1	
	先端スポーツ健康科学特別研究Ⅱ	2	演習	選択	1	
	先端スポーツ健康科学特別研究Ⅲ	2	演習	選択	2	
	先端スポーツ健康科学特別研究Ⅳ	2	演習	選択	2	
	先端スポーツ健康科学特別研究Ⅴ	2	演習	選択	3	
	先端スポーツ健康科学特別研究Ⅵ	2	演習	選択	3	

別表3-1 スポーツ健康科学専攻博士課程前期課程 中学校教諭専修免許状（保健体育）

区分	科目名	単位数	授業方法	選択必修
教科に関する 科目	健康増進科学特論	2	講義	選択
	スポーツ教育学特論	2	講義	選択

スポーツトレーニング特論	2	講義	選択
リーダーシップ特論	2	講義	選択
コーチング行動学特論	2	講義	選択
バイオメカニクス特論	2	講義	選択
スポーツ工学特論	2	講義	選択
運動処方特論	2	講義	選択
運動生理・生化学特論	2	講義	選択
スポーツ栄養教育学特論	2	講義	選択
スポーツマーケティング特論	2	講義	選択
スポーツマネジメント特論	2	講義	選択
スポーツビジネス特論	2	講義	選択
身体運動科学特論	2	講義	選択
スポーツ人文社会科学特論	2	講義	選択

別表3-2 スポーツ健康科学専攻博士課程前期課程 高等学校教諭専修免許状（保健体育）

区分	科目名	単位数	授業方法	選択必修
教科に関する 科目	健康増進科学特論	2	講義	選択
	スポーツ教育学特論	2	講義	選択
	スポーツトレーニング特論	2	講義	選択
	リーダーシップ特論	2	講義	選択
	コーチング行動学特論	2	講義	選択
	バイオメカニクス特論	2	講義	選択
	スポーツ工学特論	2	講義	選択
	運動処方特論	2	講義	選択
	運動生理・生化学特論	2	講義	選択
	スポーツ栄養教育学特論	2	講義	選択
	スポーツマーケティング特論	2	講義	選択
	スポーツマネジメント特論	2	講義	選択
	スポーツビジネス特論	2	講義	選択
	身体運動科学特論	2	講義	選択

	スポーツ人文社会科学特論	2	講義	選択
--	--------------	---	----	----

別表 4

専攻	免許状の種類	教科
スポーツ健康	中学校教諭専修免許状	保健体育
科学専攻	高等学校教諭専修免許状	保健体育